



ありんに便り

2012年
4月26日発行
通巻第7号

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報



「ありの会」へのご意見・ご要望は、〒192-0355 八王子市堀之内1236-8 社会福祉法人 由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

ぷらさの内覧会 2ページ、 利用者・職員の異動 5ページ、 総会の案内 7ページ、
かたくり各事業部から 3ページ、 野口前理事長の慰労会 6ページ、 お知らせ 8ページ、

昨年3月26日に設立総会を行い、4月1日より活動を開始した新生家族会「ありの会」も早いもので1年を迎えました。会員の皆様のご協力で初年度の活動を有意義に行えたと思います。

4月より新年度が始まり、かたくりの会でも新体制のもとで新しい事業がスタートし、自立支援法の改正問題も現実になって来ます。取り組まねばならない課題も山積みのように思えて来ますが、ここは地に足を付け一歩一歩着実な歩みを続ける事が重要と思います。引き続き会員の皆様のご協力をお願い致します。

◎ かたくりの会入会式

本年度の入会式が4月2日にかたくりの家 2Fの生活ルームで開催されました。昨年度途中入会の方2名と、南大沢特支卒4名、八王子特支卒2名、合計8名の方が出席され、たくさんの利用者、家族、職員、来賓の方々でお迎えました。入会式後にもう1名の入会があり、合計9名が入会しました。入会者をご紹介します。



〈 かたくりの家 〉

- M・Y (南大沢学園特別支援学校)・・・生活介護事業
- K・H (八王子特別支援学校)・・・就労継続B型 森の窯

〈 由木工房 〉

- S・K (南大沢学園特別支援学校)・・・就労継続B型 由木工房
- H・M (都立農業高校)・・・就労継続B型 喫茶
- H・S (平成23年度)・・・就労継続B型 喫茶
- Y・Y (平成23年度)・・・就労移行
- J・M (南大沢学園特別支援学校)・・・生活介護事業 由木工房

〈 ぷらさ de かたくり 〉

- A・O (南大沢学園特別支援学校)・・・就労継続B型 ぷらさ de かたくり
- T・N (八王子特別支援学校)・・・就労継続B型 ぷらさ de かたくり



◎ 由木工房の生活介護事業がはじまって

4月よりメンバー8名、職員3名で生活介護事業が始まりました。曜日ごとに活動プログラムがあり、月間予定や毎日の朝の会にて活動内容をお伝えしています。活動は、畑での活動やうこっけいのお世話を中心にウォーキングや調理実習、一日外出等、少人数ならではの活動を行ない、日々メンバーの状況に合わせて、ゆったりとした時間を過ごしています。

まだ始まったばかりということもあり、職員はメンバーの様子を見ながら、日々の支援を行なっています。メンバーの皆さんは職員が想像していた以上に環境に慣れるのが早く、メンバーの適応力に職員は驚かされるばかりです。徐々にメンバーや職員も活動に慣れるに従って様々な課題がでてくるとは思いますが、ご家族と連携しながら活動内容の調整をしていきたいと思えます。4日には、一日外出で昭和記念公園に出かけました。残念ながら桜は咲いていませんでした。



写真左：一日外出で昭和記念公園に行った時の様子です。

写真右：調理実習でホットケーキを作りました。

◎ ぷらさ. de. かたくりの内覧会

およそ3ヶ月に及ぶぷらさ. de. かたくりのリフォーム工事が完了し、利用者も新環境での作業に適応できるようになって、いよいよ4月20日、午前中に内覧会が行われ、その後開店オープンの運びとなりました。法内化事業の本格的なスタートでもありますが、これについては何度も触れてきましたので、内覧会と建物の印象などを簡単に紹介します。内覧会のあいさつで、設計者の加藤陽介さん（楓設計室）からは『設計前の調査では、この建物は障害者が働いているようだが、なにをする所か分からなかったという感想が多くありました。ここはおいしいお菓子を作る工房。それをすぐ買うこともできて、中で働く人の姿も見えることで親しみも増す。だから外から見えるように、入ってきやすいような空間を造形した。こうした関係が、障害者も健常者も分け隔てなく地域で共に生きることではないか。もちろん内部では使い勝手の良さを第一に、衛生面にも配慮した様々な工夫を施し（ランドリーコーナー、ガス乾燥機の設置、作業場と休憩場所の分離 etc）、この種の設備では八王子一と自負できます。』というお話でした（楓設計室にはケアホームの設計も依頼）。工務店のリフォハウスさんには「工事中の苦労話を」という司会者の注文であったが、『初め障害者の施設ということで周りに配慮しなければならぬのかと思ったが、全然その心配もなく、設計者ともよく打ち合わせ、現場の感覚で提言したこともいくつもあった。こういう建物を作って我々の方でも大変勉強になったし、楽しくやれて苦労話など全然ありません』と会場の笑いを誘っていました。こうした話の後、あらためて建物を見回ると、自然光を採り入れた窓も多く、木材を多く使った体に優しい建物など数々の配慮のあとがうかがえて納得できました。なによりも全体的に開放感が感じられますが、参加した女性陣からの一押しは可愛らしいお店という事ようです。オシャレで可愛らしく、ショーケースの中のものより一層おいしそうに見えるらしい。



左側：
建物正面

右側：
売店入り口

内覧会には、市の福祉課の方や養護学校の先生方もご出席いただきましたが、思いがけなかったのは、この建物の地権者である鈴木たえさんが、息子の享さんの押す車椅子で参加されたこと。88歳というお歳を感じさせな

いしかりした表情で、あいさつする人の話に小さく頷きながら聞いておられました。また、草創期からかたくりの会がお世話になった深谷誠さんも、むかし、この建物の2階で法人化にむけて何回も議論を重ねた回想などを語られました。ありの会からは、メイン会場正面に飾られた花束を寄贈。また周辺にポスティングされたチラシ10,000枚の印刷費用の一部として2万円を寄付しました。



炭谷理事長のあいさつ



全員での記念撮影

◎ かたくり各事業部から

かたくりの家 生活介護



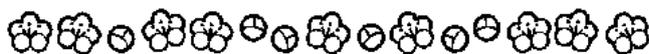
2月、3月は公園清掃・うこっけいのお世話・配達・販売・石鹸作り等を行っています。

2月は、3日に節分の豆まきを行っています。職員が鬼のお面をかぶって鬼役を務めましたが、豆を投げてる方は意外に少なく、鬼から逃げ回ったり驚いている方が多いように感じました。一日外出は、16日と23日に生田緑地へ行ってきました。雨や小雪の降った日もありましたが、日本民家園の古い建築物や岡本太郎展の芸術品を見て十分に堪能してきました。

3月は、15日と22日に一日外出でオギノパンと服部牧場へ行きました。オギノパンのパン工場見学は、皆さんパンのできる過程を興味深そうに見入っていました。服部牧場では、牛の乳しぼりを体験しましたが、恐る恐る牛に触れていました。29日には、4月から由木工房の生活介護に移る方々とのお別れ会も兼ねて、お楽しみ会を行い、楽しいひと時を過ごせたようです。

4月からは、由木工房に7名のメンバーが移りましたが、新たに1名の男性メンバーが加わり16名でスタートしました。徐々に環境に慣れてきたようです。5日には、花見レクを行いました。桜の開花が遅かったため、梅のお花見に変更しましたが、皆さん楽しんでいました。

由木工房



《 就労移行支援 》(現在3名)：この4月よりで2名のメンバーがぷらさ. d e. かたくりとかたくりの家のB型に異動し、3名のメンバーで新年度はスタートしました。4月より職員も鶴森職員に代わり、新たな活動が始まりました。100菜市場の販売や養鶏場でのうこっけいのお世話・多摩職業能力開発センター府中校でのパン販売は継続していますが、今後は、就労に向けての職場見学や実習等を充実させていきたいと思ひます。また、ハローワーク等と連携しながら、就労移行支援のメンバーだけでなく、他部署で就労を希望されるメンバーにも情報を提供していきたいと思ひます。

《 就労継続支援B型 》(現在、農園芸3名・食品加工6名・喫茶10名)：4月1日より食品加工に1名、4月10日より喫茶に1名、新たなメンバーが加わりました。今までいたメンバーの皆さんもかたくりの先輩として優しく教えながら、みんなで協力し合ってがんばっています。

農園芸では、今後の生産に向けての準備が始まり、徐々に忙しい日々となってきました。食品加工では、4月より職員も1名代わりました。また、食器も今までと変更し、ワンプレートの食器をやめて、献立ごとに個々の食器を使用するようにしました。メンバーの皆さんは忙しくなりましたが、おおむね好評のようです。

喫茶は、3月はイベントが多く、予約のお客様で忙しい日が続いていました。毎年恒例の桜の季節限定の「さくら大福」がお客様にご好評いただいております。4月から新メニューにアップルパイとホットケーキが加わ

りました。今後も利用者の皆さんと職員で話し合いながら、飲み物などの新メニューを増やしていく予定です。また、近日中に東日本大震災の復興支援の一環として、福島県の障害者施設で生産された品物を喫茶で販売する予定です。お客様のご好意によりゆりの花をいただきました。お店が華やかになりました。ありがとうございました。



写真左側：季節限定の「さくら大福」

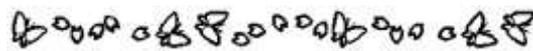
写真右側：いただいた百合の花

《生活介護》(現在8名)：かたくりの家の生活介護より7名、新規で1名のメンバーを加え、4月より本格的に活動が始まりました。(詳細は2ページの前掲記事をご覧ください)

売上

喫茶	1月 (24日営業 来客1,283名)	XXX,076円
	2月 (25日営業 来客1,167名)	XXX,384円
	3月 (26日営業 来客1,432名)	XXX,676円
農園芸	1月	XX,820円
	2月	XX,860円
	3月	XX,090円
食品加工	1月	XXX,600円
	2月	XXX,060円
	3月	XXX,384円
生活介護	3月	XX,500円

ぷらさ de かたくり



* 1月～3月までお邪魔をしていたログハウスともお別れです。3月23日に新しいぷらさに引っ越ししました。1月の引っ越しよりも手際よく引っ越しが出来ました。利用者さんも新しいぷらさにうきうきしているようでした。26日からは皆で片付けをしました。

* 29日は、1日調理実習をしました。メニューも皆で決めて、グループごとに調理をしました。それぞれのグループによって微妙に味や、出来栄が違って楽しかったです。

* 4月に入ってよいよ新しいぷらさで仕事開始です。配置もまだ覚えていないので戸惑うこともありますが、以前より広々として使いやすくなった作業場です。20日には内覧会も開催し、たくさんの方にお祝いしていただきました。これからも皆さんの期待に応えられるよう、皆で力を合わせてやっていきます。よろしくお願いいたします。

*収支報告

	1月	2月	3月
収入	XXX,111	XXX,935	XXX,895
支出	XXX,662	XXX,961	XXX,962

○ 利用者の異動

かたくりの家、就労継続B型 ベーカリー 森の窯へ： G・Oさん（由木工房から）
就労継続B型 ベーカリー 森の窯： A・Mさん（退会）
由木工房、生活介護へ： Y・Sさん・N・Bさん・H・Hさん・K・Mさん・
Y・Mさん・S・Mさん・N・Wさん（以上かたくりの家から）
ぷらさ. de. かたくり 就労継続B型へ： R・Nさん（由木工房から）

○ 職員の異動

かたくりの家 生活介護事業	西原 勇治さん(新規)
由木工房 就労移行支援事業	永野 奏さん(退職)
就労支援員	鶴森 美佳さん(新規)
由木工房 就労移行B型事業	今居 幹枝さん(退職)
	野沢 保之さん(新規)
由木工房 生活介護事業	
職業指導員	尾崎 有可さん(かたくりの家より異動)
生活支援	並木 敏一さん(新規)
	木村 伸夫さん(新規)
就労継続B型事業ぷらさ. de. かたくり	
	武田 亜希子さん(退職)
	新飯田 清さん(かたくりの家より異動)
	小林 千文さん(新規)

○ 福島県の授産施設の商品の共同購入、集計結果

昨年の東日本大震災から1年がたち被災地への支援として、3月7日「かたくりの会」と合同でお願いしました「福島県福祉施設商品共同購入」は利用者および保護者の方々のご協力により 531品 159,530円を購入していただきました。4月17日にありの会役員、後援会世話人も手伝い商品の仕分けをしました。皆様の手に届いたことと思います。

会員からは、「かたくりらしい試みでいいと思う」という感想も寄せられており、仕分けした役員からは「あの〇〇〇、美味しそう。注文しなくて悔しい。今度あったら絶対注文する」という声も出ていました。会員の皆様からも商品の感想、ご意見等を「ありんこポスト」にお寄せ下さい。

○ ケアホームの進捗状況 —— 炭谷理事長より寄稿して頂きました

4月20日のぷらさ. de. かたくりの内覧会には多くの皆さんがお集まり頂きありがとうございました。ありの会からも素敵なお花とご祝儀をいただきありがとうございました。

さて、次の懸案事項はいよいよケアホームになります。3月17日の理事会に於いて、ケアホームの設計を楓設計さんに依頼することが承認されました。それを受けて、4月16日に設立準備委員会を組織しました。法人側は理事長はじめ3人の職員、楓設計、東京都の芝アドバイザーの5人が構成員で月に2、3回のペースで打ち合わせを進めていきます。家族会の皆さんには役員会や総会で途中経過を報告していきたいと考えています。また、楓設計さんが手がけた東村山市のケアホームを家族会役員の方々と見学に出かける予定です。

ケアホームが単なる寄宿舍ではなく、利用者、家族、かたくりの会そして地域の方にとって喜んで迎えられる場づくりとして取り組んでいくつもりです。今後、家族会、後援会の皆様のご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

◎ 野口前理事長の慰労会が行われました

かたくりの会とありの会の共同主催で、この度、理事長を退任された野口洋子さんの慰労の夕べが3月30日、午後6時から、「ルヴェ ソン ヴェール南大沢」（首都大学東京 国際交流会館）において開催されました。ありの会会長のあいさつで、かたくりの会の立ち上げから今日の社会福祉法人由木かたくりの会誕生までの、4半世紀に及ぶ野口さんの功績を簡潔に紹介したのに続いて、和やかな歓談となり、この間、花束贈呈やスライドショー、この日都合で出席できなかった方々のメッセージ多数が紹介されました。なかでもスライドショーに写る保護者に「若い！」の歓声と笑い声が上がりました。職員からは加藤恵子さん、親からは津田みどりさんの心のこもったあいさつがありました。最後に野口洋子さんから、立ち上げから今日までのいくつかのエピソードをまじえたごあいさつがあり、参加者一同あらためて感謝と慰労の思いを深くして聞きっていました。



上段左側：懇談中の会場
下段左側：花束の贈呈

上段右側：野口前理事長のあいさつ
下段右側：拍手でお送りしました

〈出席者（敬称略）〉（Web版では氏名は略させていただきます）

華の人： 3名

かたくりの会： 18名

ありの会： 38名

理事： 1名

ご祝儀： 16名から

フラワー・アレンジ： 1名

す。施設長職に代わって、現在は、各事業所を代表する形で、かたくりの家：唐戸充さん、由木工房：菅原隆成さん、ぶらさ.de.かたくり：加藤恵子さんによる管理者制が敷かれています。3人は、さきの理事会に臨席して、由木かたくりの会の状況などを報告しました。

○ AIU保険団体加入の状況報告

ありの会として団体加入するAIU保険（心身障害者総合補償制度）の今年度の加入者は42名となりました。内訳は9,000円プラン27名、11,000円10名、13,000円5名です。ほとんどの方が昨年度からの継続で、新規加入は5名です。他の保険に、個人的に加入されている方を含めて、利用者のおおよそ半分強が保険に加入されていると思われます。昨年度の利用状況は個人情報のため詳細は発表できませんが、器物損壊、入院補償等で何件かの支払いがあり、「非常に助かった」の声を聞いています。

万が一に備えての保険加入をお勧めします。なお、新規加入を希望される方は役員に申し出下さい。その場合、支払保険料は、残り月数（来年3月までの）割を目安としてお考え下さい。なお、「保険証（障害保険被保険者証）」が届いています。後ほど利用者を通じてお配りしますが、メール便配送希望（後日80円徴収）や総会、定例会で直接受け取りを希望される方は、役員にご連絡下さい。

○ 新年度の会費納入のご案内

「ありの会」も発足1年を迎え、この間、手探りながらも各種の行事、活動を行って来ました。これらの行事、活動は、全て会員の皆様の入会金、会費により支えられています。新年度の始まりにあたり、平成24年度の会費の納入をお願い致します。

1年分一括は ¥6,000、前期のみは ¥3,000、のいずれかを下記の口座にお振込下さい。振り込みの手続きは5月18日までに、振り込み手数料は各自でご負担をお願い致します。

□ 振込先

ゆうちょ銀行：記号 10150、番号 17705811、アリノカイ（ありの会）

ゆうちょ銀行間の送金は、現在は無料です。

他の金融機関からの振り込みは手数料がかかります。他の金融機関からの振り込みは

ゆうちょ銀行：店名 〇一八（ゼロイチハチ）、普通預金、口座番号 1770581

みずほ銀行：南大沢支店（店番 782）、普通預金 1207473、ありの会 会長 小川原健太

※ 領収書が必要な方は会計の小川、多田野まで御連絡下さい。

○ 「かたくりの会」のこれまでの活動に関する写真、新聞記事、文書をお貸し下さい

かたくりの会が有志の集まりとして活動を開始してから四半世紀が経ちました。野口前理事長の慰労会の記事にも紹介しましたが、この間の歩みをきちんと整理して置きたいと思います。慰労会でスライドショーを作成するにあたり、前理事長からもお手持ちの資料をお借りしましたがまだまだ不足しています。会員の皆様のお手元の資料を是非お貸し下さい。大切にコピーした上で返却いたします。また個人情報などで資料の使用方法にご都合がある場合は指示に従いますのでお申し出ください。